

自然食運動の生みの親

久司さん顕彰碑建立

奥出雲

世界中で実践されて
いる自然食・マクロビ
オディック運動の生み
出された親、故久司僭子アベ
リーヌさんの顕彰碑
が、出身地の奥出雲町

横田に建立された。夫の久司道夫さん(83)らが今年10日、除幕式に臨み、故人の業績をたたえた。

僭子さんは1923

年、旧横田町に生まれ、小、中学校で教職に携わった。その後、玄米・雑穀などを主として

野菜、漬物、海藻、豆類などを添えることを基

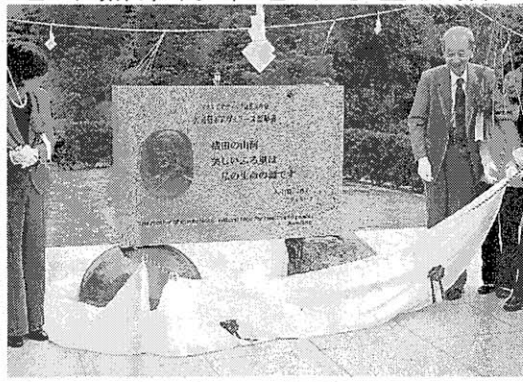
本食とするマクロビオティックを

学び、51年に道夫さんと渡米。米

国初の自然食品店をオープンさせ、数々のレストラン

経営も手掛けるなど、世界三十数カ国でマクロビオティックによる食事・健康指導を実践した。01年、78歳で亡くなった。

顕彰碑は同町の実行委員会(会長、井上勝博・奥出雲町長)が建立。御影石製で「横田



久司僭子さんの顕彰碑を除幕する久司道夫さんら

の山河 美しいふる里は 私の生命の源です」との字が刻まれたほか、僭子さんの銅製レリーフをあしらった。地球を表現した御影石と、自然石を台座にした。除幕式で道夫さんは「アベリーヌ、ここからあなたの愛した船通山が見えるよ。あなたが目指した道を、夢を、今後も全世界に広げていきます」と碑に向かって語りかけた。

【元田禎】